

息子たちがすでに巣立ってしまったので、夫婦ふたりの生活なのだが、炊事、掃除、洗濯以外にも、こまごまとした家事がいくつもある。押入れ、タンス、本棚、書類、写真の整理、夏物衣類と冬物衣類の入れ替え、家計簿の集計、エトセトラ。

定休日の朝があいにく雨だったりした場合は、きょうこそ片付けに専念しようと、ひそかに決心する。12月に入ると気温が低くなり、動きづらくなることもあって、11月中に大掃除、および小回りをきかせるのが、寒冷地ゆえの暮らし方なのだ。

整理整頓に1時間を費やすと、引き出しや戸棚は一目瞭然にすっきりする。ああ、こんなことなら、もっと定期的いきちんとしておくべきだった。書類も写真も、年月日順にうまく納まり、家計簿の月別集計もどんぴしゃり。たった半日で、主婦の鏡になったつもり。

ところが、問題は押入れの整理整頓。これが、どういうわけか、毎回うまくいかない。ということとは、主婦になって37年間ずっと、うちの押入れは物が隠れて集積する場所。それでも一生懸命に取り組むのだが、夕方に終わってみれば、右の物が左に、上の物が下に移動しただけで、なんとも達成感に欠ける。

幸い、押入れには襖か扉がついているので、閉めてしまえばすぐに忘れることができる。これがそもそも、怠慢をうながす元かもしれない。